

G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合

■ 倉本聰氏からの環境問題に関するメッセージの掲出

- ・ 3月1日（水）から、チ・カ・ホにメッセージパネルを展示
- ・ G7札幌大臣会合の地元開催レセプションにてメッセージ動画の放映

あなたは文明に麻痺していませんか

石油と水は どっちが大事ですか

車と足は どっちが大事ですか

知識と智恵は どっちが大事ですか

理屈と行動は どっちが大事ですか

批評と創造は どっちが大事ですか

あなたは本質を忘れていませんか

あなたは己れの体内のエネルギーだけで

生きるということを忘れていませんか

己れのエネルギーの消費を抑えて

他のエネルギーに頼っていませんか

あなたは結局何のかのと云いながら

他所から奪い取ったエネルギーの中で

我が世の春を謳歌していませんか

環境問題は 全てそこから発しています

地球環境を正常に戻すには

今の豊かさを少し犠牲にして

時代を戻すしか方法はありません

文明社会というこのスーパーカーは

ブレーキとバックギアをつけ忘れました

こんなスピードは要りません

こんな眩しさも要りません

我々人類は今立止り

地上の植物、けものたちにならない

謙虚につつましく生きましょう

我が世の春を謳歌して、豊かさを求めるのは止めましょう

環境問題を解決するには

その道しかないと考えます

倉本聰



倉本聰

1935年、東京都出身。脚本家・劇作家・演出家。

東京大学文学部美学科卒業後、1959年ニッポン放送入社。1963年に退社後、脚本家として独立。

1977年、富良野に移住。1984年から役者やシナリオライターを養成する私塾「富良野塾」を主宰。

代表作に「北の国から」「前路おふくろ様」「昨日、悲別で」「ライスカレー」「優しい時間」「風のガーデン」など多数。

2006年より「NPO法人C・C・C 富良野自然塾」も主宰し、閉鎖されたゴルフ場に植樹をし、元の森に返す自然返還事業と、そのフィールドを使った教育プログラムにも力を入れている。



G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合

2023.4.15 SAT 16 SUN

令和5年4月15日（土）・16日（日）に札幌市で開催される「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」に向けて、長年にわたり自然と向き合いながら、北海道を拠点に様々な活動に取り組む倉本聰氏よりご提言をいただきました。





● 「G7 札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」に向けた取り組みについて



4 月 15 日・16 日に開催される「G7 札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」に当たり、G7 札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合実行委員会では、チ・カ・ホの柱巻き広告の掲出を皮切りに、カウントダウンモニュメントやポスターの設置などの広報展開・都市装飾を進めているところですが、このたび、北海道にゆかりのある脚本家の倉本聰氏から大臣会合の開催に向けたメッセージをいただきました。

このメッセージを多くの市民・道民の皆さまに発信するため、3 月 1 日からチ・カ・ホなどで展示いたします。

G7 札幌大臣会合を契機に、環境に対する関心を高め、行動の変化につなげていくため、引き続き、取り組みを進めてまいります。

1 倉本 聰氏からのメッセージの展示

(1) 設置日：2023 年 3 月 1 日（水）

(2) メッセージパネル：別紙参照

(3) 展示場所・媒体

① チ・カ・ホ

北 3 条交差点広場西側横に設置しているカウントダウンモニュメントの台座部分に設置するほか、2 カ所にメッセージパネルを掲示。

② 札幌市公式ホームページ（3 月 1 日から公開）

<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/2023g7/message.html>

2 今後の広報展開

(1) G7 札幌大臣会合の前日（4 月 14 日（金））に、G7 参加国などを招待して開催する地元主催レセプションで、メッセージ動画の放映とメッセージカードを展示。

(2) G7 札幌大臣会合の当日（4 月 15（土）・16 日（日））に札幌ドームで開催する環境イベント「環境広場ほっかいどう 2023」で設置するパネルへの掲載。

<参考：倉本 聰氏について>

倉本 聰氏は脚本家・劇作家・演出家として活躍するとともに、長年にわたり自然と向き合いながら、富良野市を拠点にさまざまな活動に取り組んでおり、倉本氏が主宰する「NPO 法人 C・C・C 富良野自然塾」では、閉鎖されたゴルフ場に植樹をし、元の森に返す自然返還事業と、そのフィールドを使った教育プログラムに力を入れている。

【問い合わせ先】

G7 札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合実行委員会事務局
地域連携課（経済観光局観光・MICE 推進部）梶野・西・谷内
電話：211-2095

あなたは文明に麻痺していませんか
石油と水は どっちが大事ですか
車と足は どっちが大事ですか
知識と智慧は どっちが大事ですか
理屈と行動は どっちが大事ですか
批評と創造は どっちが大事ですか
あなたは本質を忘れていませんか

あなたは己れの体内のエネルギーだけで
生きるということを忘れていませんか
己れのエネルギーの消費を抑えて
他のエネルギーに縋っていませんか

あなたは結局何のかのと云いながら
他所から奪い取ったエネルギーの中で
我が世の春を謳歌していませんか

環境問題は 全てそこから発しています
地球環境を正常に戻すには
今の豊かさを少し犠牲にして
時代を戻すしか方法はありません

文明社会というこのスーパーカーは
ブレーキとバックギアをつけ忘れまじた

こんなスピードは要りません
こんな眩しさも要りません
我々人類は今立止り
地上の植物、けものたちにならない
謙虚につつましく生きましよう
我が世の春を謳歌して、豊かさを求めるのは止めましよう

環境問題を解決するには
その道しかないと考えます

倉本聰



倉本聰

1935年、東京都出身。脚本家・劇作家・演出家。

東京大学文学部美学科卒業後、1959年ニッポン放送入社。1963年に退社後、脚本家として独立。

1977年、富良野に移住。1984年から役者やシナリオライターを養成する私塾「富良野塾」を主宰。

代表作に「北の国から」「前略おふくろ様」「昨日、悲別で」「ライスカレー」「優しい時間」「風のガーデン」など多数。

2006年より「NPO法人C・C・C 富良野自然塾」も主宰し、閉鎖されたゴルフ場に植樹をし、元の森に戻す自然返還事業と、そのフィールドを使った教育プログラムにも力を入れている。

 **G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合**
SAPPORO 2023.4.15 SAT 16 SUN

令和5年4月15日(土)・16日(日)に札幌市で開催される「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」に向けて、長年にわたり自然と向き合いながら、北海道を拠点に様々な活動に取り組む倉本聰氏よりご提言をいただきました。

